

気候要素と気候因子

気候	ある地域における長期間にわたる大気の諸現象の平均状態
〔 〕	気候を構成する要素。〔 〕〔 〕〔 〕など。
〔 〕	気候要素に影響を与える要因。 〔 〕〔 〕・水陸分布・隔海度（かくかいど）・地形・海流など。

気温

日較差	一日の最高気温と最低気温の差。内陸部より海洋地域のほうが日較差が〔 大 小 〕。海からどれだけ隔たっているかという〔 度 〕が、その土地の日較差に影響。
年較差	最暖月平均気温と最寒月平均気温の差。 偏西風が常に吹いている→大陸西岸は偏西風が海洋から吹いてくる→海洋性気候になる 大陸東岸は偏西風が大陸から吹いてくる→内陸性気候になる 高緯度、内陸部、大陸東岸ほど年較差は〔 大きくなる 小さくなる 〕
等温線	海洋では〔 経線 緯線 〕にほぼ平行。
通減率	100 _{メートル} 高度が上がれば気温は約〔 〕℃低下する。 100 _{メートル} 高度が下がると気温は約〔 〕℃上昇する。 1000 _{メートル} の山地を上って降りると、気温は〔 〕上がることになり、熱風が吹き下ろしてくることになる。この吹き下ろしてくる熱風を〔 〕という。

惑星風…惑星規模で吹く風。〔 〕と〔 〕の二つ。

恒常風…地球の自転により発生する風。年間を通じてほぼほぼ一定方向に吹く。

地球の自転が止まらない限り、この恒常風が止まること、風向きが変わることはあり得ない。

コリオリの力…地球上で風は進行方向右側に吹く。

恒 常 風	〔 〕	中緯度高圧帯〔回帰線付近〕→赤道低圧帯に吹く。北半球では〔 〕
	〔 〕	中緯度高圧帯〔回帰線付近〕→亜寒帯低圧帯に吹く。
	極東風	極高圧帯から亜寒帯低圧帯に吹く。※入試では極東風の知識は不要。

下の図をみてほしい。

偏西風は、ほんとは北に吹き出したいけど、真っ直ぐ北に吹けないんだ。進行方向右側にそれる。それで偏西風。
貿易風は、ほんとは南に吹き出したいけど、真っ直ぐ南に吹けないんだ。進行方向右側にそれる。それで偏東風。

